

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月11日更新

事務事業名		県都市計画協議会参画事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合 計画 体系	政策 施策 基本事業	1 6 17	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり 計画的な土地利用の推進 計画的な市街地の形成	事業連番 10157	法令 根拠		所属部 都市建設部 都市計画課 都市計画班	課長名 坂口 和也 担当者名 原田 和彦 (内線) 2235	
予算科目	会計 一般	款 8	項 4	目 1	事業連番 10157	法令 根拠		成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 ⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了	<input type="checkbox"/> 22年度から開始	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 18 年度) (期間限定複数年度 ～ 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	負担金納入、都市計画事業研修昭和46年に都市計画区域(熊本都市計画)に編入されたことに伴い開始された事務事業である平成19年11月30日より改正都市計画法が施行された。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	資料の入手、総会参加、研修会参加、負担金納入
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】	特に無し
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO) 会議参加、研修会参加、県内都市計画関連情報入手、負担金納入	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 会議参加、研修会参加、県内都市計画関連情報入手、負担金納入
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ⇒ ア 会議開催数 イ	(単位) 回 予算の主な増減の理由
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 職員	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ⇒ ア 会議開催数 イ (単位) 回
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 県内の都市計画関連情報の入手により職員の資質向上を図る	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ⇒ ア 会議開催数 イ (単位) 回
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	

(2)各指標・総事業費の推移			単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
①活動指標	ア イ	回		2	2	2	2	2	2	2	
②対象指標	ア イ	回		2	2	2	2	2	2	2	
③成果指標	ア イ	回		2	2	2	2	2	2	2	
投 入 量	事 業 費 額	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円								
		(A)事業費計 (A)のうち指定経費 (A)のうち時間外、特勤	千円 千円 千円	28	25	41	40	39	41	41	
		人 件 費	人 時間	2	3	1	2	1	1	1	
		(B)人件費計	千円	240	159	238	206	247	247	247	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	268	184	279	246	288	288	288	

事務事業名	県都市計画協議会参画事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (S E E)

*原則は22年度の事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

3 評価結果の総括 (S E E) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

県内の都市計画に関する会議に2回出席し、職員の資質向上及び都市計画業務の円滑化を図った。

4 今後の方針性（事務事業担当課案）（P L A N）

- (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(廃止・休止の場合は記入不要)				
		コスト		
		削減	維持	増加
成 果	向上			
	維持		○	
	低下			

- ### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策